

「課題名：小児期から青年期の *Clostridioides difficile* 感染症に対するバンコマイシンの治療成績」について

○ 研究の意義・目的

バンコマイシン散は、*Clostridioides difficile* 感染症の治療薬ですが、小児に対する投与方法について明確に推奨されているものではありません。この調査は、当院における2～18歳の患者さんに対するバンコマイシン散を用いた *Clostridioides difficile* 感染症の治療成績を調査するもので、この感染症の治療方法をより有効で安全性の高いものとするために、重要であると考えました。

○ 研究対象者

2013年1月1日から2017年12月31日までに、広島大学病院にて *Clostridioides difficile* 感染症に対してバンコマイシン散を投与された2～18歳の患者さんを対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は、患者基本情報（性別・年齢・身長・体重・体温）、治療歴、腎機能（血清クレアチニン値、eGFR）、バンコマイシン散の投与方法、副作用発現状況 です。（個人が特定出来る情報は転記しません）

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学病院薬剤部 教授 松尾裕彰

○ 研究期間 委員会承認後～2021年3月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5578

広島大学病院 薬剤部 教授 松尾 裕彰（研究責任者）

薬剤師 久保 有子（担当者）